

び兩親を殺したことは過激に失する。然しその兇行は挑發されなかつたならば行はれなかつたかも知れぬ。兩者の矛盾せる陳述を裁決することは出來ぬ。然しボムピリアの臨終の際の告白は大して事態を闡明にするものではない。彼女の告白は眞實であるとも云ひ得るなればそれと同時に偽であるとも云ひ得る、告白を聞いた僧の耳に保留されてゐるものが他に多くあつたかも知れない。それを聞き得るならば眞偽の間を知り得たかも知れぬ。伯爵を拷問に附したが、それは事實を明示する正しき方法とは考へられない。ギド伯は或は身に覺えないことを強ひられたかも知れぬと云ふのが折衷派の意見である。事件に對して冷淡な見方でもあり或は當事者の意見に逆らふ用心深い見方であるとも云ひ得る。

## 新 著 紹 介

### ○瀬戸内百圖誌

綿貫勇彦著

四六版一二二頁

東京刀江書院發行 昭和七年四月 定價一圓五十錢  
瀬戸内の靜かな地文人文に互つた景觀を寫眞について簡短に説述した目にも訴へた所の多い讀み物である。殊に力を注いでゐるのは「吾々の生活がどんな風に自然と結びつき、それから出發した生活がどんな過程をたどつて發展してゆくか」の點で村々の農業と果樹栽培と漁業と航海業とそれぞれの發展した經路とを自然と歴史とから考察したことはいちいちの寫眞の説明が直接に關聯しては居ないにも拘らず通覽の後では明に了得される。寫眞の數八十五、スナップにしてはよくも捉へ得たと感心される岡柄もあり、遠景すぎて狀況のおぼるげなものはないではない。其の範圍は藝豫叢島の内の大三島群と防豫島列であつて、幸のみによつて生きると云はれる能美島などは要塞地域の爲め擧げられて居ない。本書を玩味すると離れ離れの島が従來一つの基調を持つた發展の跡を示さないであつたものが、後來は漸次同じ道程をたどつて往く様になるのではないかと豫想させる趣のあるのは瀬戸内人文の將來に一大暗示を與へたものと云ひ得る。日本の大地理區として著しいこの美しい内海は地理學のいろいろの方面から研究されねばならぬ地域であつてこの本で種々の命題が與へられるとも見得るから、この好著は瀬戸内郷土地理の發足點を劃したものと認められる。(ナカムラ)

### ○滿蒙合璧清内府一統輿地秘圖

奉天故宮所藏鈔圖四十一枚 四十五圖

奉天、金梁出版

支那にはよい地圖がない、古い廣輿圖などは到底正しいものではない、しかし康熙乾隆二帝の世になると宣教師が支那にやつてきて命を奉じて地圖を測量し北緯十八度から北緯五十五度、東は東經十度(北京を中度とする)から西は西經四十度(イシクル附近)まで、支那本部の外に滿蒙西藏等を測量した地圖が出来た、準噶爾の亂が平ぐや天山北路を測量したので乾隆丙子に至つて(西紀一七五六)右の地圖が出来たので、支那本部は漢字、其他は滿洲文字で註記したものを奉天宮城内に置いた、それが今回金梁氏の手によつて出版されたのであるから、支那を研究する人には一度見て置くべき良圖であるといつてよい、金氏は之を人間未見の珍と賞めてゐる、いかにもさうであらう、但し同時に乾隆十三排銅版中國圖といふ北平故宮博物館の地圖も出版された、この方は全部で百〇四枚、定價も百五十圓といふ、乾隆庚辰に回部が一統されて出来た地圖であるが、地圖としては前者よりも見劣りがするしかし地名はすべて漢文であるから却つて読み易い、この方も珍籍であると信ずる。(藤田)

### ○人文地理學

遠藤金英著 教育研究會發行

定價二圓五十錢

菊版二四一頁の中冊子である、本書は人文地理學の要素意義などを地理學の發達から觀察し自然と人類の關係(海洋洋川氣候)をととき氣候と經濟の關係に入り人類及び人種を論じ人口、聚落國家、各國の政治、土壤と灌溉、生産物、交通等

に及べる講義である、斯學入門の手引としてよからうかと考へるが、まだ語つて詳ならざるの恨が多い。(藤田)

### ○政治地理境界論

フォーセツト著 石田 勇 譯

古今書院發行 一圓二十錢

ザンプトン大學のフォーセツト教授の境界論の譯であつて四六版一三七頁の小冊子である、境界の性質、機能、自然的境界、河川境界、人爲的境界、境界領と緩衝國、要害的境界、境界の發達の八項について説明がしてある分りやすい本である。(藤田)

### ○蕃鄉風物記

小泉鐵著 建設社刊行 定價三圓

臺灣の蕃族調査の爲めに著者が滯留して研究された事柄を集めたもので、主としてアミ族とタイヤル族について記されてゐる、文章も輕快であり著者の目撃せるがまゝに之を記したのであるから、蕃族の實際をしるに此上なき參考資料であると考へる。遠からず臺灣土俗誌も出るといふことである併せて見るべきであらう。(藤田)

### 雜報

### ○滿蒙講習會

日本の生命線たる滿蒙に關する適確なる認識を興へ、且つ其啓發は、惟神の大道に則り、高遠なる理想と、確乎たる信念を基礎とせねばならぬ事を十分に力説せん爲め、京都帝國大學教授青柳博士等の主宰せる教化振興會